



## 「届けよう、服のチカラ」プロジェクト

社会 道徳 環境 国際理解 総合

- (1) ねらい
- ① 身近な“服”を通じて、難民問題や環境問題に关心を持つ。
  - ② 子ども服の回収活動により、「自分にもできる社会貢献がある」と気付き、自ら行動する力を培う。
  - ③ 回収の呼びかけなどを通じて、地域社会とつながることを理解する。
- (2) 対象
- ・決められた授業期間内に、出張授業を20名以上で受講できる小・中・高等学校
  - ・授業（クラス単位・学年単位いずれも可）、生徒会、委員会、部活動など枠組みは自由
- (3) 講師
- ユニクロ・ジーユーの社員
- (4) 形式
- ・出張授業（1単位時間）+呼びかけ活動+回収・発送活動
  - ・出張授業では、PC+プロジェクター+スクリーンをご用意ください。
- (5) 概要
- ・（株）ファーストリテイリング（ユニクロ・ジーユー）が国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と共に取り組む、児童・生徒むけの参加型学習プログラム活動です。
  - ・ユニクロ・ジーユー社員による出張授業を受けたのち、児童・生徒が主体となって、着なくなった子ども服を回収します。
  - ・回収した服は、UNHCRと連携して難民など服を本当に必要とする人々に届けられます。
- (6) 流れ
- ① 出張授業（1単位時間）  
ユニクロ・ジーユー社員が学校を訪問。  
“服”がテーマの出張授業です。
  - ② 校内・地域へ呼びかけ  
校内や地域に呼びかける方法を、  
子どもたち自身が考え、実践します。
  - ③ 回収・発送  
実際に服を回収したのち、指定の倉庫に発送。
  - ④ 報告  
難民キャンプへの寄贈の様子を、  
ユニクロ・ジーユーからフォトレポートで報告。
- 


- (7) 費用 無料
- (8) 申込み
- WEBページにある応募フォームから、応募期間ご確認の上ご応募ください。
- [https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/power\\_of\\_clothing/](https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/power_of_clothing/)
- ※Webサイトのみの応募。
- 実施が決定しましたら、実施日時・対象をネットワーク本部までご連絡ください



